

(別紙4(2))

事業所名 有限会社グループホーム・元気の家

目標達成計画

作成日: 平成 21年 12月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	27	生活記録が日記になっている。「何のために」が全ての記録に見えてない。	「何のために」をしっかり考え、本人、家族の方が安心して生活でき、見える介護をする。	・生活記録用紙を変更し、その方の生活がすぐ見えるようにする。 ・会議録一つ一つに議題を付けて話し合いをする。 ・生活記録を毎月コピーし家族へ送付する。	1ヶ月
2	4 (3)	運営推進会議をただこなしているというだけになっている。	会議の議題を決め参加者が楽しみに積極的に参加してくれる会議にする。	・いくつかの議題を決め話し合いをする。(ホーム側からだけの発信だけでなく出席者が議題を出し進行することも取り入れる。) ・参加者の方が興味を持つような議題を一つでも取り入れる。(たとえば認知症とは？新型インフルエンザ、拘束、虐待などについて他) ・運営推進会議の記録を全家族へ送付する。	2ヶ月
3	5 (4)	用事があって行政へ行くだけになっている。	地域と行政のつなぎ役となる。	・行政と連携して認知症サポーター養成講座を開く。 ・介護教室を開く。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。